

インタビュー

傍聴席からひらいて



後藤夕香里さん
(船越・52歳)

議会を傍聴されたきっかけは何ですか。

以前から一度傍聴したいと思っていましたが、なかなかきっかけがつかめずいました。

今回は地域婦人部の活動の一環として「議会の傍聴を通じて町の様子を知らしましょう」との誘いがあり、良い機会と思い参加しました。

議会を傍聴されたの感想はいかがですか。

最近マスコミで話題のいじめについて、町議会でも同時進行で取り上げ一生懸命

命議論している様子が見えて、感動しました。

傍聴席から議員の顔が見えないので、改善してもらえたらと思います。

今後、議会または町政に望むことは何ですか。

町は福祉関係には力を入れていてその点は良いと思います。子供達がせつなく進学して資格や技術を身につけても職場がないため、地元に戻ってこれません。このままでは町の少子高齢化がますます進むだけだと思います。

山田町独自では難しくても、沿岸の近隣市町村と協力して職場を確保し、「若者が定着できる町づくり」にもっと力をいれてほしいと思います。

次回定例会は二月二十日開会の予定です。皆さんで議会を傍聴しましょう。

議会広報研修で紙面づくりを学ぶ

宮城県大和町を視察

議会広報編集特別委員会（田村剛一委員長・委員5人）では、町民に親しまれる紙面づくりを学ぼうと11月1日に宮城県大和町議会を視察しました。大和町の議会広報は、全国コンクールで優秀賞を受賞するなど優れた編集を行っており、見出しや写真、余白を工夫し、読みたくなる紙面づくりを行っています。



議員出欠表

○ 病欠入院 □ 公務欠席
△ 遅刻早退 ○ 自己都合

月日	本会議種別	欠席者等氏名
12月5日	第4回定例会	◎木下志き子
12月6日	〃	◎木下志き子
12月7日	〃	◎木下志き子
12月8日	〃	◎木下志き子

おわびと訂正

議会広報10月15日号（114号）の2頁「職員の勤務時間変更」記事で、窓口時間は「午後8時30分まで」とあるのは「午後5時30分まで」の誤りでした。深くおわび申し上げ訂正いたします。

あとかき

▼ようこそ二〇〇七年。新年に對する思いは町民さまさま。夢だけは持ちたいものです▼マスコミは史上最長の好景気を宣伝していますが、その実感は全くありません。むしろ生活は苦しくなるばかり▼地方の時代といわれながら、大都市と地方、富めるものと貧しきもの、勝ち組負け組。格差社会は拡大するばかり▼子供達を取り巻く環境も大変。児童・生徒のいじめ、それを苦にした自殺が相次ぎました。いじめによる悲劇だけは町民あげて防止したいものです▼本町の水産業は大変。イカは不漁、高価格に支えられたサケ漁も結果的には減。期待されたカキもノロウイルスの風評被害で大打撃▼海が元気にならないと町の活力は出ません。今年に期待したいものです。（田村）

議会広報編集特別委員会

- 議長 佐々木 良一
- 委員長 田村 剛
- 副委員長 小嶋 秀
- 委員 黒山 隆
- 委員 利忠 一郎